

ほうとうむすこ
放蕩息子

ルカ15：11－24

ほうとう、いみ
‘放蕩’の意味って知ってる？

→思うままにふるまうこと、あそんでばかりいること、わがまま なんだって！

1. お話の**順番**どおりになるように**番号**をつけましょう。(1～5番)

- () 息子はもらった**財産**をお金にかえて**遊び**ほうけた。
- () 町に**ききん**がおこった。
- () 息子はお金がなくなったので、**豚**の**世話**をする**仕事**についた。
- () お父さんが死んだらもらえる**財産**を今ください！とお願いした。
- () **豚**の食べる**いなご豆**を食べたいほどおなかが、すいていた。

2. ‘お父さんの**所へ**帰ろう’と思った時の**息子**の**きもち**をえらんでね。

- () あっ、**お金**がなくなったから、もう一度**お金**をもらいに**帰ろう**！
- () とっても**みじめな気分**だなあ～
- () おいしい、**ほうとう**が**食べたい**なあ～
- () ぼくは、お父さんの**お金**を使い**果たして**なんて**バカな**ことをしたんだ

3. 19節を読んでお父さんは**息子**(**弟**)の**事**をどう思っていたと思いますか？

- () オレの**お金**を返せっ！この**バカ息子**！と思った。
- () ちゃんと**元気**でやってるかな？**風邪**をひいていないか**心配**だ。
- () 息子が**大金持ち**になって、**財産**の**倍額**を返してもらおう！と思った。
- () いつ**帰って**きてもいいように、ここで**待って**いよう。

4. 20節を読んで、あなたが**放蕩息子**だったら、どんな**気持ち**になりますか？

5. **放蕩息子**のお父さんのように、あなたが、**神様**の**事**を**忘れた**時も、**心**が**離**れている時も
ずーっと**愛**して**待**ってくれています。そんな**神様**に自分の**気持ち**をお祈りしましょう。